

コレクション展 2015-III

かたちときもちー親しみやすさはどこからくるの？

2015年10月31日(土)～2016年2月11日(日)

## 「親しみやすい作品」だと感じる理由はどこにある？ 「かたち」(形状)と「きもち」(感情)の観点から考えます

本展では、作品に感じる「親しみやすさ」がはたしてどこから来るのかを、作品の造形(かたち)と鑑賞者の感情(きもち)から考察し、「親しみやすさ」の原点を紐解きます。

作品を鑑賞する際に、その作品について知識がなくても「かわいい」「楽しい」「おもしろい」「(メッセージが)伝わってくる」と、直感した経験は誰にもあるのではないのでしょうか。

本展では、それらの直感を作品に対する「親しみやすさ」と考え、その「親しみやすさ」の原点を、丸みのあるかたち、リズムのあるかたち、ちいさなかたち、という造形からの視点と、なつかしいきもち、おかしなきもち、という感情からの視点に分けて、コレクション作品をもとに検証していきます。

この展覧会は同時に、作品を受容する鑑賞者の一人ひとりが、「好ましい」「親しみやすい」と思う作品は、どんな造形をしているか、どんな感情を呼び起こすものを好んでいるか、作品に対する自分自身を考えるきっかけとなることを期待するものでもあります。それぞれの作品と対話をするように、作品の造形やそれを見たときに生じる自身の感情について思いをめぐらせる機会となれば幸いです。

### 【展示構成・出品作家】

#### ●まるみのあるかたち

岡本太郎、元永定正、飯田義國、ジャン・アルプ、吉田堅治、奈良美智

#### ●くりかえしのかたち

アレクサンダー・カルダー、宇治山哲平、青木野枝、金氏徹平、秋山祐徳太子、マーティン・クリード、恩地孝四郎

#### ●ちいさなかたち

ヘンリー・ムーア、草間彌生、クルト・シュヴィッターズ、駒井哲朗、浜口陽三、利根山光人

#### ●なつかしいきもち

長谷川潔、駒井哲朗、恩地孝四郎、香月泰男、秋山祐徳太子、山路商、灰谷正夫、小林孝亘、高橋秀、アンソニー・グリーン、松本栄一郎、日高理恵子

#### ●おかしなきもち

パリー・フラナガン、鶴岡政男、灰谷正夫、池田龍雄、高嶺裕、村上隆、金氏徹平、森村泰昌、ヤノベケンジ、安部泰輔

### 開催概要

【会期】	2015年10月31日(土)～2016年2月11日(木・祝)
【開館時間】	10:00-17:00 ※入場は閉館30分前まで
【休館日】	月曜日(11月23日、1月11日を除く)、11月24日(火)、1月12日(火)、年末年始(12月27日～1月1日)
【観覧料】	一般370(280)円、大学生270(210)円、高校生・65歳以上170(130)円 ※中学生以下無料 ※( )内は30人以上の団体料金

広島市現代美術館(学芸担当:山下 広報担当:後藤、鈴木)  
〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園1-1  
TEL/082-264-1121(代表) FAX/082-264-1198  
E-MAIL/hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp



岡本太郎《若い夢》1974/1995  
ー『まるみのあるかたち』



金氏徹平  
《Model of Something #6》2013  
ー『くりかえしのかたち』



小林孝亘《GATE》1997-1998  
ー『なつかしいきもち』



池田龍雄《「禽獣記シリーズ」ファミリー》1958  
ー『おかしなきもち』